

液晶用クリーンバッチシステム

Clean Batch System for LCD



光洋サーモシステム(株)では、第四世代の液晶用クリーンバッチシステムを開発し、発売開始したので、その概要を紹介する。

バッチ式の「メンテナンスの容易さ」と連続式の「自動化対応の容易さ」という双方の利点を持ち、大型ガラス基板に対応した設備である。

特長

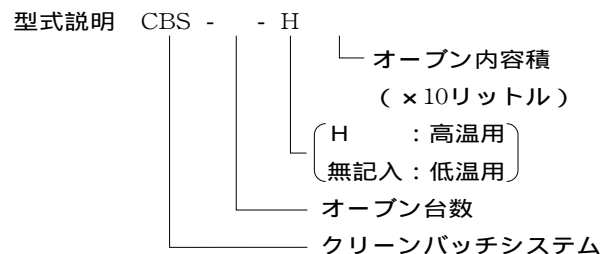
- ・生産量・基板サイズにより、フレキシブルなレイアウト対応が可能。
- ・バッチシステムの採用でメンテナンス時にも全停止不要。
- ・全周シール構造による超低酸素濃度雰囲気により、歩留りの向上に貢献。
 残留酸素濃度：20ppm以下
 （窒素パーセント90分後）
- ・CIM・AGV対応でホストコンピュータ指示による集中制御，レシピ変更等無人化ラインに適用可。
- ・枚葉式搬送方式採用で，重量搬送となるカセット式に比べ，搬送コストが安価。
- ・強制冷却システムの採用でサイクルタイムを短縮。(水冷熱交換方式)
 温度上昇時間：約30分(100 → 250℃)
 温度降下時間：約60分(250 → 100℃)

用途

- ・LCDカラーフィルターの焼成
- ・配向膜の焼成
- ・ITO膜蒸着後の熱処理
- ・レジスト塗布後のプレバーク

主な仕様

型式	CBS - 4 - 132
外形寸法	7800W × 5900L × 2900H
基板サイズ	730W × 920L (0.7 ~ 1.1)
基板収納枚数	20枚 × 4室
最高使用温度	330℃
温度分布	± 5℃(at300℃)
槽内清浄度	クラス100
投入/排出機	基板搬送ロボット
電力/電源	165kW・3 200V



光洋サーモシステム株式会社